



# 二十六聖人

2024年3月号

No.367 (2024年3月3日発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

## 巻頭言：十字架の道行

全世界のすべての教会の聖堂には、「十字架の道行」が設置されています。その形はそれぞれ違いますが、ほとんど十四留のものです。それは聖堂の外から見ると、大体、祭壇（内陣）の左壁の一番前から第一留が始まり、その最後の第十四留が右壁の一番前に設置されます。聖堂の構造によっては、聖堂の後ろの壁にも一部、設置される場合もあります。

この祈りの内容は、イエス様がポンティオ・ピラトのもとで十字架の死刑宣告を受け、石のお墓に葬られるまでの色々な出来事となっています。この十字架の道行は、いつでもささげることができる祈りですが、特に、四旬節の間には、もっと積極的に捧げるようにと勧められる祈りです。そこで、この四旬節の間、信者の皆さんもこの祈りをささげながら、イエス様の苦しみに与り、また、復活への希望を強めることができると思います。

十字架の道行を思い起こすと、いつの間にか、聖堂は、ピラトの官邸からゴルゴタの丘

に至るまでの道となります。その道で、イエス様は色々な人間に出会われました。無責任で卑劣なピラト。嘲りながら十字架を背負わせ、また、三度倒れたイエス様に鞭を振る人たち。唾を吐き、石を投げる人たち。罵り嘲る人たち。イエス様の服を脱がせ、それを、くじ引きで奪う人たち。イエス様の手に釘を当て、その釘を打つ人たち。イエス様の口元に酸っぱいぶどう酒を付ける人。イエス様の脇腹を槍で突き刺す人。何も知らずに、多くの群衆に加わって、イエス様の死刑に賛同する人たち。全てを終えて何もなかったかのように、日常に戻っていく人たち。



**でも、その道で、**イエス様は愛する母親のマリアと一人の弟子、ご自分の代わりに十字架を背負ってくれたクレネのシモン、汗と血にまみれたイエス様の顔をめぐってくれたベロニカ、涙を流していた多くのエルサレムの婦人たち、丁寧に十字架からイエス様の遺体を降ろしてくれた議員ヨセフとニコデモのような人たちにも出会ったでしょう。

**善人にも悪人にも、**日をのぼらせ、雨を降らせてくださる神様の独り子として、イエス様もその十字架の道行を全うされました。そこで、その十字架の道は、もはや、悲しみの道でなく、慈しみの道となり、憎しみや恨みの道でなく、愛の道となり、死への道でなく、まことの命への道となったわけです。そ

の十字架の道は、すべての人を救うための道で、イエス様はきっと苦しみながらも、喜んでその道を歩かれたはずです。

**十字架の道行が掛けられている聖堂。**ここに、イエス様はわたしたちを呼び集め、わたしたちに出会ってくださいます。わたしたちがどんな人間だとしても、イエス様はわたしたちみんなのために、今日もここで十字架の道の神秘を示してくださいます。それは、わたしたちをその道に導き、イエス様ご自身の命に与らせるためでしょう。そのイエス様の愛と慈しみの道に導かれ、わたしたちも同じ愛と慈しみに生きる人となれるよう、お祈りいたします。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

## 2024年2月教会委員会報告（開催日：2月4日）

### 【大切なお知らせ】

- ・信徒名簿等を悪用した犯罪を防ぐため「名簿類管理規程」が発効しました。
- ・古い信徒名簿（製本されたもの）や信徒名簿のコピーをお持ちの方は、いったん教会事務所に直接手渡しで返却してください。尚、信徒会等が独自に作成した連絡用会員名簿は対象外です。
- ・信徒名簿の閲覧・筆写は今後も可能です。詳細は事務所に問い合わせてください。
- ・信徒名簿等をコピーする時は、神父様との面談と許可が必要です。また、信徒名簿をスマホやカメラで撮影することはできません。

### 【検討事項】

1. 3/24 枝の主日 10 時ミサ後に大掃除を行います。従来通り各地区が掃除箇所を分担して皆で数年分のほこりを払い、復活祭の準備をしたいと思えます。

2. 青年会が中心となり、復活祭に向けてカラー和紙製のステンドグラスを制作する予定です。
3. マリア会／パーティー係にイースターエッグと復活祭パーティーの準備をお願いしました。
4. 4/21（日）11:30 から山手教会で助祭叙階式があり、当教会のナン神学生も叙階される予定です。ナンさんの家族として皆が叙階式に出席できるように、10 時ミサを 9 時に繰り上げる予定です。
5. 子供たち向け聖歌集の改訂を検討中です。新しい聖歌を取り入れ、本格的な製本をする予定です。
6. 一階障がい者用トイレの扉を遮音性のあるしっかりしたものに更新する予定です。

また、一階男子トイレ手洗い水栓の改善も検討しています。

7. 既にお知らせしたように、バザーに関して信徒の皆さんの意見をお聞きする予定です。そのためのアンケート用紙を作成中で、3月から開始する予定です。

## 【各会報告】

### 1. 典礼委員会

・2/17（土）17時ミサから信仰宣言ではニケア・コンスタンチノーブル信条を唱えることにします。

・3/28 聖木曜日（19:00）に洗足式を行います。洗足される方は各信徒会からの推薦者6名と公募者6名の計12名です。

### 2. 教会学校

・1/14 リーダー会を行いました。次回は2/11 10時ミサ後の予定です。

・2/18 ミサ後に子どもたちがゆるしの秘跡を受ける予定です。

**3. キリスト教講座**：2/18 藤沢教会で横浜教区合同入信志願式があります。当教会の対象者は5名です。

**4. 福祉委員会**：年末福祉献金の礼状が届いています。3月教会委員会で纏めて報告します。

### 5. 共同墓地委員会

・上大岡共同墓地の合葬スペースが一杯になってきたため対応策を検討中です。

・共同墓地生前予約2名を受付けました。

### 6. ヨゼフ会

12/30に忘年会を、1/21に例会を、1/28にコーヒー光を実施しました。2/11にはコーヒー光を予定しています。

### 7. マリア会

・1/13、14に新成人の集い兼新年会パーティーの準備と実施を行いました。

・1/28にマリア会総会を行いました。次期会長にK. M. さんを選出し、また、K. R. さんが運営委員に加わりました。

・アンナ会は1/22、ステラマリス帽子を編む会は1/19、25に活動しました。ポリビア支援グループの1/21のんびり日曜日は青年会訪韓報告会のため中止しました。

### 8. 青年会

1/14 10時ミサ（青年ミサ）で新成人一名のお祝いをし、みことばカードと「あなたはあなたのままでいい」という本をプレゼントしました。その後、ミサに与れなかった新成人一名のお祝いと1年の予定の話し合いを行いました。

### 9. インターファミリー

・1/21の10時ミサ後、神父様と共に新年会と神父様の誕生日のお祝いをしました。

・2/25信徒集会後にミーティングを予定しています。

### 10. 一粒会

・2/4 第三地区一粒会の集いを行います。  
テーマ：「2024年活動計画について」

・一粒会月定献金会員の募集は新規会員17名、再開会員2名となりました。

以上

# 資料：「名簿類管理規程」の説明

本年1月の教会委員会で決定され、本年2月7日に発効しました。概要は以下の通りです。

- 目的** 当教会が保有する名簿類の乱用、漏洩、詐欺等の犯罪行為への使用を防止する。
- 方法**
- ①管理者の明確化 名簿類は主任司祭が管理
  - ②使用目的の制限 祭儀、宣教司牧、諸宗教交流および啓発活動等に関する情報提供の目的に限定
  - ③コピーの制限 コピーには主任司祭との面談と許可が必要  
紙コピーに限定、スマホ等での撮影は禁止
  - ④コピー返却 コピーは要返却の借用品、借用期限をコピーに記載
  - ⑤貸与・譲渡禁止
- 例外**
- ①閲覧・筆写 事務所で所定の手続きを行うことで可能
  - ②各会が連絡用に作った氏名、電話番号、メールアドレスのみを記載した名簿

## 過去に入手した名簿類の取扱い方法

### ・古い信徒名簿やそのコピー

もし手許にあるなら事務所に手渡しで返却してください。

すでに処分・紛失しているなら、とくに報告して頂く必要はありません。

引き続き保有する必要があるときは神父様と面談して許可を得てください。

### ・2023年に配布した地区世話人連絡員用の信徒名簿コピー

2024年地区世話人連絡員会の日に返却してください。

### ・過去に撮影した名簿の映像

ファイルを削除してください。必要なら紙のコピーを入手してください。

No.	役名	氏名	事業所名	〒	事業所所在地	事業所TEL	事業所FAX
1	会長	藤原 豊	株式会社ソラ	2121	沼津市必勝3017	02-2841	02-4101
2	副会長	藤村 昌男	株式会社秋も里しのほ	2122	沼津市河内133-1	14-2840	14-2122
3	副会長	三津 貞道	ミツ機械株式会社	2122	沼津市下町381	05-1123	05-2108
4	理事	山岡 聡大	株式会社山岡建設工業	2124	沼津市大宮231	04-1170	04-1003
5	理事	結城 武二	有限会社結城武二	2124	沼津市大宮1903	02-2840	02-2144
6	理事	津田 賢規	津田建設コー	2124	沼津市大宮39-1	04-0323	04-0331
7	理事	片山 健司	有限会社片山	2124	沼津市必勝南10-6	02-2819	02-2510
8	理事	森田 隆史	有限会社森田隆史建設	2121	沼津市大宮249-5	14-2819	14-2644
9	理事	東條 孝隆	有限会社東條孝隆	2121	沼津市大宮325-8	12-0115	12-0151
10	理事	船山 謙吾	船山建設有	2121	沼津市大宮39	14-2840	14-2140
11	理事	中山 一社	有限会社中山一社	2121	沼津市大宮157-1	02-2850	02-2850
12	理事	岡 光弘	有限会社岡光弘建設	2121	沼津市大宮310-0	02-2181	02-2125
13	理事	池上 明彦	株式会社池上建設	2121	沼津市大宮364	04-0205	04-0190
14	理事	赤田 安雄	赤田設計事務所	2122	沼津市必勝南9-14-1階	02-2841	02-3045
15	理事	大竹 和夫	大竹石材株式会社	2121	沼津市必勝南250-2	02-0214	02-2100
16	理事	養井 宏	株式会社養井	2124	沼津市大宮300	02-0810	02-2103
17	理事	西井 康文	株式会社西井建設	2121	沼津市大宮2150-2	02-0205	02-2510
18	理事	村上 純二	井物屋株式会社	2121	沼津市必勝南112-11	02-0400	02-3630
19	理事	八橋 海丸	株式会社八橋建設	2121	沼津市大宮2124	02-0800	02-1250
20	理事	竹内 哲	有限会社竹内建設	2121	沼津市大宮2124	15-2000	15-2011
21	理事	栗田 康広	株式会社栗田建設	2121	沼津市大宮2007	14-2202	14-2143
22	理事	木村 幸一	有限会社木村建設	2121	沼津市大宮300-1	14-0836	14-0811
23	理事	津山 正幹	株式会社津山建設	2128	沼津市大宮177	02-2820	02-3022
24	理事	岡田 邦浩	有限会社くさだ	2024	沼津市大宮300	28-1500	28-1503
25	理事	高木 浩一	有限会社高木建設	2124	沼津市大宮302	02-1824	02-3023
26	理事	青木 洋一	青木建設	2122	沼津市大宮300	04-1618	04-0441
27	理事	高橋 悠子	有限会社高橋建設	2121	沼津市大宮188	02-0224	02-0122
28	理事	出雲 千恵	株式会社出雲建設	2122	沼津市大宮402	02-0405	02-4100
29	理事	橋本 孝行	橋本建設	2022	沼津市大宮301-2	04-0234	04-0234
30	理事	下村 健作	株式会社大野	2121	沼津市大宮73	02-0225	02-2215
31	理事	一真田 剛雄	有限会社ビッグパレ	2124	沼津市大宮300-1	04-1888	04-1889
32	理事	藤原 康夫	有限会社藤原建設	2121	沼津市大宮2206-6	14-2206	14-2101
33	監事	吉井 康人	株式会社吉井建設	2121	沼津市大宮2003	04-1605	04-0125
34	監事	山口 昌志	山口建設株式会社	2403	沼津市大宮324-2	12-3220	12-3240

名簿コピーの例  
「要返却」印、借用期限、氏名は朱色

## 二俣川教会の守護の聖人 日本二十六聖人のお祝い

去る2月5日(月)は、二俣川教会の守護の聖人『日本二十六聖人殉教者』のお祝い日でした。当日は月曜日でしたので、1番近い主日から守護の聖人を思い起こして祝い、祈りました。ミサ前の「日本二十六聖人殉教者への祈り」からはじまり、その昔、信徒からの公募で作られた「二十六聖人讃歌」を歌い、祭壇の前に捧げられた26本のロウソクの光を見つめながら、ごミサを捧げました。



4日(日)の10時のミサでは、二十六聖人一人ひとりの名前を背負った26名の方によるロウソク行列が行われました。今年は公募で参加者を募り、様々な年齢層の方に参加していただくことができました。教会学校の初聖体クラスの子供たちも参加してくれて、それぞれ10代で殉教した聖人たちの名前を背負い、大切に慎重にロウソクを持って入堂し、貴重な体験になったと思います。行列に参加してくださった方々の声を聞きました。



- 二十六聖人の名前を背負い、ロウソクと共に入堂するのはとても神聖な時間を感じました。二十六聖人に想いを馳せ、改めてこの教会のはじまりについても考える機会になりました。

- 二十六聖人の行列について、参加するのが好きでした！私の聖人は自分と同じぐらいの年齢で、面白い偶然だと思

いました。今は、二十六聖人についてもっと知りたいです。

- 二十六聖人の行列に参加する役目を与えていただき、とても感謝しています。誇りに思います。今回は教会の中を行列しましたが、京都から長崎まで歩かれたことを考えていました。実際にどの道を歩いて行ったのかが気になり、いつかチャレンジできる日が来るかな？と考えたりしました。

- 私でも何かできることがあればと参加させていただきました。26人のなかのひとりに会うことができ穏やかな心でおります。次回はノベナの祈りの呼びかけがあると嬉しく思います。

2月の記念日だけではなく、その名を頂いた教会共同体としていつも二十六聖人を心に留めたいと思います。二十六聖人を、今を生きる私たちに伝えられている信仰の模範として受け止め、様々な形で信仰をあかすことができますように。ひとりひとりが洗礼によっていただいた賜物を活かし、世の中の福音化のために共に生きる教会を目指してまいりましょう。



二十六聖人委員会





夏の『番外編』以来となる、久しぶりのインタビューです。先日、助祭叙階前の黙想会(2/11~2/17)に参加されて感じたこと、助祭叙階を前にしたお気持ちをうかがいました。

### 『神はここにおられます』

神学校では、学年末に各学年の進級に応じてそれぞれに黙想会があります。神学科3年の私たち(枇杷神学生、グエップ神学生と私)は助祭叙階準備のために一週間の黙想会を行いました。私たちは3人で話し合っ、上長と相談した上、函館トラピスト修道院で黙想会を行うことを決めました。3人とも行ったことがないところで、現地の冬の天気のことなども考えずに、ただ、ここは観想修道会なのできっと黙想にふさわしいところになるのだろうと思って決めたのです。おかげさまで思っていた以上に充実した黙想会となりました。



修道院の敷地に入った私は、思わず「ワオ！」と言ってしまふほど驚きの連続でした。敷地が広く、綺麗で静かなところでした。やっぱり観想修道院だなと感じられる雰囲気がありました。敷地は広いのですが、現在修道士は13人しかおられないそうです。十数年前にメンバーが多かったのですが、段々と年を取って、神のみもとに召されたそうです。残っている一番若い方も、50代になったそうです。修

道院の門はいつも開かれています。最近、修道院に入る人がいないそうで、そんな事情もあって修道院からは寂しそうなイメージが与えられるかもしれません。しかし、修道士たちにとってはそうではないと思いました。なぜなら、この黙想会で私が一番感動したのは修道士たちの祈りの姿だったからです。

「ora et labora — 祈れ、働け」を中心とした生活を送る修道士たちは基本的に禁域内で生活していますので、私たちも直接お会いすることはできませんでしたが、私たちの黙想指導神父の配慮によって、黙想スケジュールを修道院の祈りの時間に合わせてくださいましたので、ミサと祈りの時間は修道士たちと共に捧げることができました(後ろから)。修道院の祈り時間(聖務日課)は一日7回あって、そのうちの5回を、私たちは修道士たちと共にしました。人数が少ないにもかかわらず、修道士たちは聖堂に入る度に穏やかな顔で、そして健やかな歌声で高らかに神を賛美していました。私は、毎回毎回本当に感動しながら「神はここにおられます」と感じました。修道士の神への強い信仰が、外見からも内面からもこの神々しい姿を通して表されていると感じました。ある意味でこの修道院で私が見たものは、日本教会の姿



の一部を表していると思います。日本教会の現状は言うまでもないことです。この現状を前にして寂しさを感じるとは思いますが、この黙想会、特に修道士たちの信仰生活を通して、どんな状況であっても「神はここにおられます」ということを強く体感し、実感しました。

そして、黙想会の最終日（土曜日）ミサ中に読まれた福音箇所の中で「わたしに従いなさい」（ルカ5・27）というイエスの徴税人であるレビへの語り掛けられるみことばがありました。このみことばはわざわざ選ばれたのではなく、偶然にあったのでもない、神の働きだと信じ



じます。これは私たち3人にも語り掛けられた神の招きだと確信しています。

この黙想会を通していただいたものは、今、決定的なステップを踏み出そうとしている自分にとって大きな力と勇気と励みとなるとは思います。皆さん、いつもいつも支えて頂き、心から感謝致します。忠実に神の招きに応え、神と人々への奉仕を全うすることが出来ますように、引き続き、私たちのためにお祈りください。

\*\*\*\*\*



## 皆で祈りましょう！

四旬節にあたり、このお祈りを紹介します。文語体である四旬節の祈りを口語体にしたものはいろいろありますが、その中で、カルメル修道会の祈りを取り上げてみました。



### し じゅんせつ いの 四旬節の祈り

いつくしみに満ちた神よ、わたしたちは心<sup>こころ</sup>をこめてあなたを仰ぎ、  
あなたによりすがります。あなたはあわれみ<sup>あわれみ</sup>深く、正義<sup>せいぎ</sup>に満ち、罪人<sup>つみびと</sup>に道<sup>みち</sup>を示し、  
へりくだる者<sup>もの</sup>にゆるしをお与え<sup>あた</sup>になります。罪<sup>つみ</sup>の重荷<sup>おもい</sup>にあえぐわたしたちを顧み<sup>かえり</sup>、  
節制<sup>せつせい</sup>によってこの世<sup>よ</sup>の快樂<sup>かいらく</sup>を断<sup>た</sup>とうと努<sup>つと</sup>めるわたしたちに、  
罪<sup>つみ</sup>や欲望<sup>よくぼう</sup>の絆<sup>きずな</sup>を断<sup>た</sup>つ力<sup>ちから</sup>をお与<sup>あた</sup>えてください。  
わたしたちの償<sup>つぐな</sup>いのわがが御子<sup>おんこ</sup>の受難<sup>じゆなん</sup>と結<sup>むす</sup>ばれて、豊かな実<sup>ゆた</sup>りを結<sup>むす</sup>び、  
心<sup>こころ</sup>も体<sup>からだ</sup>も清<sup>きよ</sup>められて、主<sup>しゆ</sup>の復活<sup>ふっかつ</sup>のよろこびを味<sup>あじ</sup>わうことができますように。  
主<sup>しゆ</sup>キリストによって。アーメン。

（「カトリック祈禱書 祈りの友」 カルメル修道会 より）

二俣川教会では2月17日(土)主日ミサから、信仰宣言をこれまでの「使徒信条」から「ニケア・コンスタンチノーブル信条」を唱えることにしました。以下は簡単な説明です。

## <ニケア・コンスタンチノーブル信条とは?>

教会は、その歴史の最初から、いろいろな問題に直面しました。その主なものは、イエス・キリストに関するものでした。そのために、教会は公会議を開き、自分たちの信仰を、より正確に言葉で表現してきました。こうして325年に開かれたニケア公会議と、381年に開かれたコンスタンチノーブル公会議によって決められた信条をひとつにまとめたものが、この「信条」で、“教義的信条”とも呼ばれます。

この信条は、長い間、ミサの信仰宣言として唱えられてきました。これまで日本の教会で使用してきた「ニケア・コンスタンチノーブル信条」は文語だったので、ミサの典礼文が口語になったとき、洗礼式のときに使われる信仰宣言を用いてきました。しかし、2004年の2月に口語訳ができ、この「ニケア・コンスタンチノーブル信条」を使用できるようになりました。

これらの「信条」は3つの部分に分けることができます。

1. 御父と創造のみわざについて
2. 御子イエス・キリストと人間のあがないのみわざについて
3. 聖霊について

これらの信仰宣言を唱えるとき、私たちは「私は信じます」と宣言しますが、その信じる内容は、教会がそのはじめから、ミサの中で心を合わせて宣言してきた信仰内容です。私たち一人ひとりが、「私は信じます」と宣言することによって、教会・神の民の信仰に参加し、共に宣言しているのです。

(聖パウロ女子修道会公式サイト〔Laudate(ラウダーテ)〕より)

\*\*\*\*\*

わたしは信じます。唯一の神、  
全能の父、  
天と地、見えるもの、見えないもの、  
すべてのものの造り主を。  
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。  
主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、  
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、  
造られることなく生まれ、父と一体。  
すべては主によって造られました。  
主は、わたしたち人類のため、  
わたしたちの救いのために天からくだり、  
以下、「人となられました」まで礼をする。  
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、  
人となられました。  
ポンティオ・ピラトのもとで、  
わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られ、  
聖書にあるとおり三日目に復活し、  
天に昇り、父の右の座に着いておられます。  
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。  
その国は終わることがありません。  
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。  
聖霊は、父と子から出て、  
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、  
また預言者をおして語られました。  
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。  
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、  
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。アーメン。



## 2024年 四旬節・聖週間カレンダー

四旬節	2月14日(水)～3月28日(木)
2月14日(水)	灰の水曜日〔大斎・小斎〕
3月16日(土)	四旬節黙想会とゆるしの秘跡 指導司祭 ペトロ韓 最守(ハンジョンス)神父様
3月24日(日)	受難の主日(枝の主日) ミサ 7:00、10:00
3月28日(木)	聖木曜日(主の晩さん) ミサ 19:00
3月29日(金)	聖金曜日(主の受難)〔大斎・小斎〕 十字架の道行き 14:00 祭儀 19:00
3月30日(土)	聖土曜日(復活の聖なる徹夜祭) ミサ 19:00(洗礼式)
3月31日(日)	復活の主日 ミサ 7:00、10:00

### ニ俣川教会 ニュース

- 3月24日(日)【受難の主日(枝の主日)】10時ミサ後に『教会大掃除』を行います。数年ぶりの大掃除となります。四旬節に、ゆるしの秘跡を受けて“心の掃除”をして準備するように、聖週間の始めに力を合わせて“神様の家の掃除”をしましょう！家族、友人同士、互いに声を掛け合ってみんなで掃除をしましょう。若い世代、中年世代の皆さんにも協力を求めたいと思います。
- 教会学校の予定をお知らせします。3月17日(日)に教会学校の修了式・卒業式を行います。この1年間皆さん頑張りましたね。また、4月7日(日)には新年度の教会学校を始業します。新しく教会に来られた方や、教会学校のことを知りたい保護者の方と子どもさんは、事務所または教会学校リーダーまでお声かけください。
- 2024年【四旬節黙想会】は3月16日(土)です。指導司祭はペトロ韓 最守(ハンジョンス)神父様。テーマ“わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい”(ヨハネ13,34)～最後の晩餐で示されたイエスの愛と戒め～。詳細は後日、ロビーの掲示、または「今週のお知らせ」などでご確認ください。

総会が終わり、マリア会は2024年を歩み始めました。総会には33人の方々にご出席いただき、神父様、教会委員長のご出席も頂きました。コロナもだいぶ落ち着き、そろそろ活動が出来そうな状況となった昨今、されどコロナやインフルを蔓延させ無いよう最大限の注意を怠らず、マリア会らしい活動を展開したいと思います。



今回の総会は、2023年運営委員3名にとって正念場と捉えていました。運営委員のマリア会を担う責任感は継続

のための原動力となっていました。新しい風を吹き込んでくれる、新しい運営委員メンバーを見出すという責任はなかなか叶わず、総会の中で、運営委員の選出方法についてご参加のマリア会会員の方々に提案していただく時間をとりました。総会としては大変異例なことでした。

会場からは厳しいご指摘もありましたが、会員全員の問題として考えて頂いている中、「洗礼間もないものですが、私でよければ」と手を挙げて下さったのがK. R. さんでした。こんなことがあるのかと胸が熱くなりました。神様は必要な時に与えてくださったと思いました。会則にある6名には届きませんが、今後も活動を維持しながら祈り続けたいと思いました。必ず聞き届けられる証を頂いたのですから、運営委員4名でマリア会会員の霊的な成長と会員相互の交流のための企画を、会員の皆様のご意見を頂きながら進めていきたいと思っています。

総会の後、23人の方々とキーマカレーを頂きながら交流の時間を過ごしました。和やかな良い時間だったと感じています。

今年は、このような時間を度々待ちたいと思います。その為には「手と手」のメンバーの方々のお力が必要です。コロナ前とは状況が変わっている方もおありかと思いますが、「できる時にできる方が」を合言葉に絆を深めていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

マリア会 K. M.

\*\*\*\*\*  
広報委員会では『二十六聖人』の外見や内容について、皆さまからのご意見をいただきたく、ご意見箱と記入用紙をロビーに用意しますので、どうぞ忌憚のないご意見をお寄せください。

\*\*\*\*\*

### 【編集後記】

大池公園梅林の色とりどり梅の花（13種類、200本）が、ここ数日の気温の上昇を受けて見頃を迎えようとしています。2024年3月号は、神父様の巻頭言「十字架の道行」に始まり、復活祭前の四旬節に相応しい記事が満載ですので、春を感じながらお読みください。復活祭後の号で、復活祭に洗礼を受ける志願者の方々の喜びのお声をお届けします。（S. O. 記）